

「コミュニティのミライを考える」

# まちづくり ニュース

Vol.1

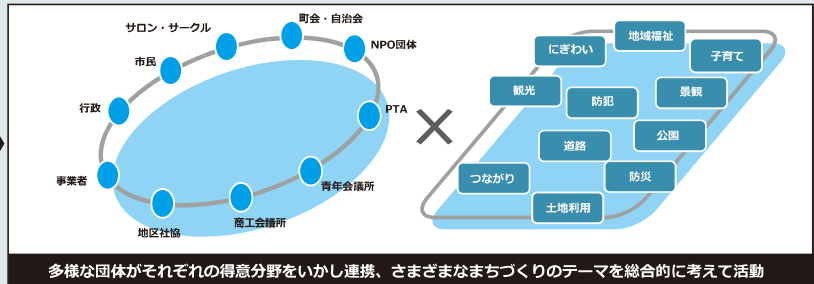
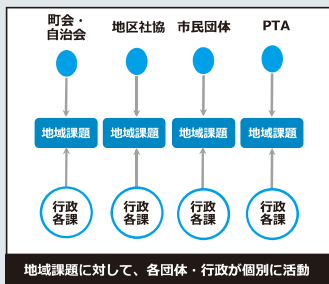
## コミュニティのミライを共に創る これからのまちづくりが動き出した



「人生100年時代」を、楽しく、豊かに生きることのできるまちは、どんな姿でしょうか。人口は減り、高齢化はますます進んでいきます。災害に対する都市のリスクや、都市の空洞化も広く認識されはじめ、まちの抱える課題は多様で複雑になってきています。そんな中、少し長い目で見て、誰もが住みやすいまちをめざしていかなければなりません。

草加市の活かなコミュニティの力を活かしながら、これらの課題に取り組んでいくため、コミュニティをベースに、多様な世代、さまざまな背景をもつ方々が大勢関わって、地区のまちづくりを進めていく必要があります。

この地区のまちづくりに向けて、今年度より新田西部地区・谷塚中央地区で地区別懇談会をスタートしました。懇談会では、自分の住んでいるまちについて語り合いながら、3年間かけて、具体的なまちづくりのアイデアを集め、共創で取り組むまちづくりのアクションを束ねて、地区のまちづくりの行動計画となる「コミュニティプラン」をまとめていきます。今回のまちづくりニュースでは、昨年11月から今年2月まで、のべ6回にわたって開催した懇談会の様子をお伝えします。



# 1 こちらが、今年度の懇談会の様子です

地区別懇談会の開催は広報紙や市のホームページ、町会の回覧文書などでお知らせしました。また、大勢の方に参加を呼びかけようとしてインタビューも実施しました。その結果、どちらの地区も町会・自治会をはじめ、サロン・サークル団体、商店主、PTA、民生委員、個人の方など様々な分野で活動・活躍している。幅広い年代の方が毎回30~40人、一堂に集まりました。

行政もこの懇談会を開催するに当たって、庁内で部局を超えた連携を図り、防災、福祉、子育てなど関係する9課が運営に携わりました。

懇談会は3回とも、5~7人単位で班に分かれ、お茶を飲みながらの親しみやすい雰囲気なか、ワークショップ形式で話し合いを進めてきました。

	谷塚中央地区	新田西部地区
場所	谷塚文化センター2階第1・2学習室	勤労福祉会館1階ホール
日程	1回目：11月26日(月)	1回目：11月30日(金)
	2回目：12月20日(木)	2回目：12月21日(金)
	3回目：平成31年1月28日(月)	3回目：平成31年2月8日(金)
時間	午後6時30分~9時	

## STEP 1 インタビュー

### 大勢の方に集まってもらおうと 行政からインタビュー

防災から子育て、教育、にぎわいづくり、地域福祉などの幅広い分野から、できるだけ大勢の方に参加してもらおうと、懇談会に先立って、60人・団体の方にインタビューを実施しました。インタビューした方々からは、様々な分野で活動する人が一堂に集まって、分野を超えて話し合うことへの期待が感じられました。

行政への要望や夢物語ではなく、チームを作って自分たちで実現するためのプロジェクトを立ち上げていこうというのは、とてもいいと思う。

町会も高齢化しており、新しい人の加入も課題となっているため、こういった懇談会で様々な方が一堂に会して取り組んでいくのはいいことだと思う。

全市ではバラバラになってしまいがちな意見が、地区を超えて懇談会を実施することでまとまり、実現性が高まりそう。楽しんだ。



中山 豪さん



上迫 隼人さん



RIKKENさん

## STEP 2

### 第1回懇談会

### 地区の課題や資源を洗い出し まちづくりの「種」を共有

初回となる第1回目の懇談会では、これから3回続く会の目的や、参加者が住んでいる地区の現状を確認したのち、グループに分かれて、地域の課題や資源について話し合いました。

参加者は初対面の方も多く、冒頭はなかなか発言が出ない場面もありましたが、コンサルタントが各班に進行役として入り、

お茶を飲みながらの親しみやすい雰囲気の中、議論は次第に熱を帯びていきました。2時間30分の長丁場でしたが、途中の休憩も忘れて活発な話し合いが広がり、一人ひとりの意見を丁寧に書き模造紙に貼り出していくと膨大な量に。最後に班で出された意見をまとめた模造紙の内容を発表し、参加者全員で共有しました。

#### 参加者のご意見

	谷塚中央地区	新田西部地区
資源	・ボランティア活動できる人がいる ・放課後子ども教室 ・活発なサロン・サークル活動 ・地域の憩いの場がある など	・助け合い活動など様々な活動 ・町会、商店街の活発なイベント ・介護予防の活動 ・昔ながらの良い雰囲気のお店 など
課題	・町会の高齢化、加入者減 ・子どもの減少 ・地域イベントの減少 ・商店街のにぎわいの減少 など	・子どもの居場所不足 ・近所づきあいの減少 ・独居の高年者の増加 など



## STEP 5

### タウンミーティング

### タウンミーティングの場で 2地区の取り組みを発表

3月9日(土)に高砂コミュニティセンターでタウンミーティングを実施しました。当日は、まちづくりを専門とする東京大学の小泉秀樹教授の基調講演に続いて、2地区で3回実施した懇談会の成果発表を行い、参加者同士で意見交換をしました。参加者は「2地区のように、地域の人が集まって気軽に話し合える場を、ここにいる有志で他の場所にもつくりたいね」などと刺激を受けていました。



## STEP 4

### 第3回懇談会

### 地区のまちづくりの中心となる プロジェクトテーマを決定

3回目の懇談会では、2回目までの検討を踏まえていよいよ、地区で今後のまちづくりを進めていくうえでプロジェクトのテーマを決定、そのテーマに沿ってプロジェクトのアイデアをまとめました。初回から

回を重ね、知り合いの輪が広がったことで勢いを感じる話し合いが広げられ、各班から希望に満ちたアイデアが出されると、次年度からの具体的な取組みの検討に向けて期待感が高まっていました。

#### 参加者のご意見

##### 谷塚中央地区

- 1.水路を歩いて健康づくりにつなげ、おしゃべりしたくなるしかけをつくるプロジェクト
- 2.「できるこそステッカー」でお客さんと店舗のコミュニケーションを生み出すプロジェクト
- 3.子どもや親が楽しく集まれる早加の旗っば換映プロジェクト
- 4.子どもが企画する多世代交流の機会をつくるプロジェクト
- 5.スクールガードなどの既存の活動を充実させるために相談の場をつくるプロジェクト

##### 新田西部地区

- 1.シルバー人材が地域で活躍できるよう、コーディネーターを発掘・育成するプロジェクト
- 2.地区に新設される公園を、商店街が積極的に活用するプロジェクト
- 3.子育てをひとりでも抱え込まないよう、相談できる機会・場づくりプロジェクト
- 4.子どもの本質にあった魅力あるプレイスポット構想プロジェクト
- 5.空き家を活用した交流の場づくりプロジェクト
- 6.防災活動に参加するきっかけづくりプロジェクト



## STEP 3

### 第2回懇談会

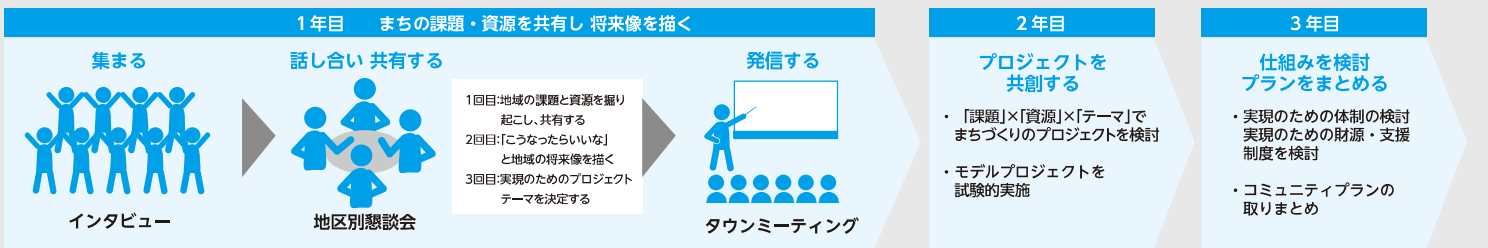
### 自分たちの住む地区の 20年後の将来像を思い描く

2回目の懇談会では、1回目に話し合った地区の課題や、まちづくりの資源(場所や活動)をもとにしなが、地区の理想的な将来像を描きました。前回とは異なる班構成でしたが、冒頭で「一番の課題は何か」を、シールを使って投票すると、皆さん立ち上がってシールを貼りながら自分の思いを語っていました。どちらの地区もたくさん理想像が出されましたが、世代間の交流があり顔が見えるまちをめざしたいなど、活発なコミュニティのあるまちの姿が語られていました。

## コミュニティプラン策定に向けて

2017年4月に策定した「まちづくりの基本となる計画」に描いたまちの将来像を実現していくために、コミュニティ単位でのまちづくりを推進しています。今年度は2地区(谷塚中央地区と新田西部地区)で取り組みをスタート。多様な参加者を呼び込むためのインタビュー、第1回目の懇談会ではコミュニティの課題や資源を洗い出し、2回目に地区の将来像を描き、3回目に地区のまちづくりの主要なプロジェクトテーマを決定、3月のタウンミーティングで取組成果を情報発信しました。

懇談会は3年間続け、地区ごとの具体的なまちづくりのアイデアや、共創で取り組むまちづくりのアクションを集めて、最終的に「コミュニティプラン」としてまとめていきます。また、将来的にはさらに地区を増やして懇談会を開催する予定です。



## 2 参加者の方に感想を聞いてみました

人とのふれあひ × コミュニティ



大串 好子さん

### いろいろな人に、出会えるチャンス

懇談会ではいろいろな人に出会えるので、毎回ワクワクしていました。情報交換したり、アドバイスをもらったり。自分が住んでいる地区の、今まで知らなかった活動などを知ること多かったですね。

3回の懇談会に参加して、「もっとやらなきゃ、自分たちから発信していこう」、そんな気持ちになりました。今後、この話し合いを具体化、実現化させていくのが楽しみです。

夢を現実にする力 × コミュニティ



小勝 元貴さん

### 熱を冷まらず、実現につなげていきたい

まちづくりは、地域の自分たちが先頭を切って行動し、行政がそれをサポートする、そんな形を見つけていくことが大事なんだと、懇談会で話し合っ、改めて感じました。

3回の懇談会で、この地区の理想像や夢が浮き彫りになってきました。言いっ放しにしないで、この熱気のある雰囲気のまま、ともに取り組む仲間を見つけて、実際の活動に繋げていきたいと強く思っています。



## 3 まだまだ続きます

懇談会の取り組みは、これで終わりではありません。谷塚中央地区、新田西部地区では4回目、5回目、6回目...と、4月以降もこの懇談会を継続し、ステップアップしながら、懇談会で生まれたプロジェクトをリアルなまちなかで実現するまで続けていきます。両地区にお住まいの方は引き続き、ふるってご参加ください。この先の活動も、まちづくりニュースで発信していきます。

問い合わせ先

都市整備部 都市計画課  
tel.048-922-1790 fax.048-922-3145  
mail.toshikeikaku@city.soka.saitama.jp

### 「まちづくりの基本となる計画」を販売中

この計画書は、地域の人が身近な場所で、いつまでも安心して暮らせるまちをつくり出していくための、総合的なまちづくりの方向性をまとめています。誰もが住みやすいまちをめざして、一人ひとりが考え、各地域でまちづくり活動を進める際の「まちづくりの参考書」となるでしょう。計画書は公共施設・市のホームページで閲覧できるほか、情報コーナー・都市計画課・中央図書館で販売しています。1冊500円。是非手に取って、草草のこを、自分の住んでいる地域のことを考えるきっかけとして活用してください。

